

本部名：永久津中学校区支援地域本部

連絡先：小林市教育委員会 社会教育課

電話：0984-22-7912

FAX：0984-23-9700

1 実施状況

| | |
|--|----------------------------------|
| 対象学校 | 小林市立永久津中学校・小林市立永久津小学校 |
| 活動分野 | 学習支援活動・環境整備・登下校の安全指導・学校行事・伝統芸能継承 |
| 【学校支援の取組】 | |
| ○ 読み聞かせ（通年）、地域の小中生登下校見守り活動（通年）、昔の遊び（通年） | |
| ○ 世代間交流グランドゴルフ（5月）、農家民泊（6月）、特別養護老人ホーム「陽光の里」との交流体験活動（6月）、生き生き公民館活動（6月、10月）、平和学習（戦争遺族会による講話）（8月） | |
| ○ 田植え体験活動（6月）、稲刈り体験活動（11月）、脱穀体験活動（11月）、収穫祭（12月）しめ縄づくり（12月）、芋植え体験活動（6月）、芋収穫体験（11月） | |
| ○ 岡原田の神踊り（めしげ踊り）指導（8月） ○ 門松作り（12月） | |
| ○地域コーディネーター（2）人 ○ボランティア登録数（29）人 | |

2 特色のある取組の紹介

① 「稲作体験」と「収穫祭」



【ここがイチオシ・本部自慢！】

田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭までを体験し、小林市の地産地消に貢献します！

○ 活動内容

この体験活動は、小中学校合同で事前の計画を立て、中学校の生徒小中の職員、営農組合、地域コーディネーターとで打合せをするところから始まる。まずは、小学校5、6年生と中学生とで6月に田植えをする。

11月には実りを待っての稲刈り、さらに脱穀も体験する。収穫した米（餅米）は、12月の収穫祭で醤油餅やきなこ餅として保護者や地域の方にも振る舞われる。その折には、保護者をはじめ、永久津地区「母ちゃんの会」や「ドンとやろう会」の皆さんが温かい豚汁を作ってください、交流活動に花を添えることになった。

○ 事業を実施して（参加者等の声）

- 自分たちで田植えをして育てた餅米で作った餅はとてもおいしく、いろいろな調理方法があるのにびっくりしました。（児童・生徒）
- 持久走大会が終わり、疲れた体に温かい豚汁はおいしく、身も心も温まりました。中学3年生にとっては、大きな行事が終わり、受検に向けての意欲が高まることでしょうか。食育指導の一環としても、保護者や地域の方々に感謝です。（教職員）



【田植えの様子】

② 「めしげ踊りと」と「しめ縄作り」



【ここがイチオシ・本部自慢！】

「めしげ踊り・しめ縄作り」の伝統を引き継ぐ。高齢者から保護者へそして子どもに！

○ 活動内容

小中合同運動会で岡原地区に伝わる岡原田の神踊り別名「めしげ踊り」を披露した。保存会の今別府満氏に指導を仰いでいる。また、本年度は家庭教育学級の中で、正月用のしめ縄作りをした。いろいろな伝統を地域全体で保護者、子供へ伝えていく。



【めしげ踊り】



【しめ縄作り】

○ 事業を通して（参加者等の声）

- 地域の中の学校として、伝統芸能や文化を大人から子どもに伝承していくことは、この事業の趣旨に大切な一部である。
- 3年目のしめ縄作りで、今年はいまよくできた。お正月には家に飾りたい。（児童・生徒）
- 家庭教育学級が主体となり、地域の指導者から保護者・子どもたちにしめ縄づくりを指導することができてよかった。（保護者）